

金口議員（民主県政会）

令和元年6月26日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）代替教員の必要数と確保策について

年度を通じた代員の必要数をどのように見込み、具体的にどのような確保策を講じているのか、併せて教育長に伺う。

（答）

今年度、公立小中学校で新たに必要となる代員の数につきましては、昨年度の実績と職員の年齢構成などから、おおむね600名を見込んでおります。

教員の必要確保数につきましては、計画的かつ総合的に進めていく必要性があることから、中長期的な取組の方針を4月に作成したところでございます。

正規職員に係る代員の具体的な確保策につきましては、退職者をはじめ教員免許をお持ちの方に、人材バンクへの登録を呼びかけたり、求人情報サイトを活用したり、大学との連携をしたりするなど、あらゆるネットワークを通じて様々な取組に努めるとともに、今年度からは、加配定数を活用した配置も行っているところでございます。

引き続き、必要な教員数の確保に向けて計画的な取組を進めてまいります。